

志野医師からのひと言：肥満と膵臓

肥満はインスリンというホルモンの働きを悪くします。

インスリンは膵臓から分泌され血糖を下げるホルモンです。その働きが悪いと高血糖状態が続きやがて糖尿病になります。

ところで膵がんは最も悪性度の高いがんの一つです。なかなか早期に発見するのが難しいとされています。しかし急に糖尿病になってしまったり、また元々糖尿病でそのコントロールが急に悪くなった時に膵がんが見つかることがあります。

最近の研究では、特に日本人男性において肥満が直接膵がんの危険因子であり、体重管理が膵がんの予防につながるといわれています。

膵がんの危険因子は他に喫煙がありますが、肥満・糖尿病も確実に注意が必要です。

(栄養に関してのお問い合わせは、栄養科または外科外来にご連絡下さい。)

